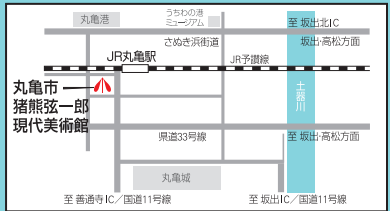




丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
Marugame Genichiro-Inokuma
Museum of Contemporary Art

香川県丸亀市浜町 80-1
TEL: 0877-24-7755
http://mimoca.org



JR 丸亀駅下車、南口より徒歩 1 分

◎お車で越しの場合
・本州方面から＝(瀬戸大橋経由) 瀬戸中央自動車道 坂出北 IC より約 10 分
(神戸淡路鳴門道経由) 高松自動車道 坂出 IC より約 15 分
・四国内の高速道路から＝高松自動車道 坂出 IC・普通道 IC より約 15 分
※JR丸亀駅前地下駐車場 2 時間無料(美術館 1 階受付にて駐車券をご提示ください)



高松市美術館
Takamatsu City Museum of Art

香川県高松市紺屋町 10-4
TEL: 087-823-1711
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp
/kyouiku/bunkabu/bijyutu/




瀬戸内国際芸術祭 2013 参加作品
“MECON” Setouchi Triennale 2013 Summer and Autumn Seasons

会場＝女木小学校 香川県高松市女木町 236-2
問い合わせ＝087-813-2244 瀬戸内国際芸術祭2013 総合インフォメーション
http://setouchi-artfest.jp



高速バス (JR丸亀駅発着) でもアクセス可能です
▶東京・横浜方面から
夜行「ハローブリッジ」1 日 1 往復
▶名古屋から
夜行「さめきエクスプレス名古屋」1 日 1 往復
▶大阪・神戸から
昼行「さめきエクスプレス大阪」1 日 14 往復
▶福岡から
夜行「さめきエクスプレス福岡」1 日 1 往復

◎予約・問い合わせ＝四国高速バス予約センター
TEL: 087-881-8419 [8:00～19:00]

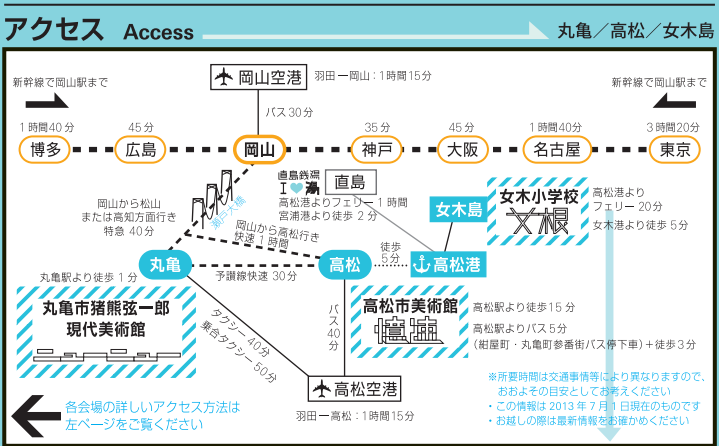


▶高松空港から
高松空港リムジンバス「兵庫町」で下車、徒歩 約 4 分

▶JR 高松駅から (徒歩)
約 15 分 中央通りを南へ

▶JR 高松駅から (バス)
・11 番のりば まちバス「丸亀町参番街」下車、徒歩 約 3 分
・12 番のりば ショッピング・レインボー循環バス西廻り「紺屋町」下車、徒歩 約 3 分
・2・7・8・10 番のりば ことでんバス (一部路線除く)「紺屋町」下車、徒歩 約 3 分

▶ことでん片原町駅から
片原町商店街、丸亀町商店街を徒歩 約 10 分



◎交通手段

【飛行機】
東京－高松空港
〈羽田 → 高松〉
07:20 08:35 ANA531
07:55 09:10 JAL1403
09:25 10:40 JAL1405
09:35 10:50 ANA533

〈高松 → 羽田〉最終便
19:05 20:25 JAL1414
19:35 20:55 ANA540
ANA, JAL ともに 1 日往復 6 便

空港からの接続
・高松空港→高松駅
空港リムジンバス 約 40 分
・高松空港→丸亀方面
乗合タクシー (高松空港シャトル便) 約 50 分
1 名片道 1,500 円 / 搭乗前日午前中までの予約制 (→東讃交通 TEL:0120-13-5024 または 0877-22-1112)

【電車】本州方面→高松/丸亀
岡山駅で乗り換え。高松へは快速マリンライナー (約 1 時間)、丸亀へは特急しおかぜ、南風 (約 40 分) の利用が便利

高松と女木島定期船時刻表
〔瀬戸内国際芸術祭 2013 会期中〕

高松港発	女木港発
8:00	7:20
9:10	○8:10
10:00	9:20
11:10	10:10
12:00	11:20
13:10	12:15
14:00	13:20
15:10	14:10
16:00	15:20
○17:10	16:15
18:10	17:20
○18:40	○18:10
○19:25	○21:00

○は、夏会期 (7/20～9/1) のみ運航
◎は、夏会期の金・土・日および 8/12～15 のみ運航

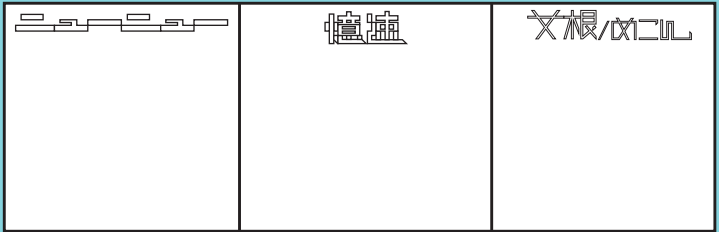
1 日で 3 プロジェクトを巡るモデルルート

スタート	スタート	スタート
〈丸亀発→高松→女木島〉	〈高松発→女木島→丸亀〉	〈女木島発→高松→丸亀〉 (出発: 高松港)
13:00～〔ニューニュー〕	12:30～〔憶速〕	12:00 高松港発 (フェリー)
14:06 丸亀駅発 (JR 予讃線)	14:00 高松港発 (フェリー)	12:20 女木港着
14:32 高松駅着	14:20 女木港着	〔女根/ めこん〕
14:45～〔憶速〕	〔女根/ めこん〕	13:20 女木港発 (フェリー)
16:00 高松港発 (フェリー)	15:20 女木港発 (フェリー)	13:40 高松港着
16:20 女木港着	15:40 高松港着	14:00～〔憶速〕
〔女根/ めこん〕へ	16:13 高松駅発 (JR 予讃線)	15:42 高松駅発 (JR 予讃線)
17:20 女木港発 (フェリー)	16:39 丸亀駅着	16:09 丸亀駅着
17:40 高松港着	〔ニューニュー〕へ	〔ニューニュー〕へ

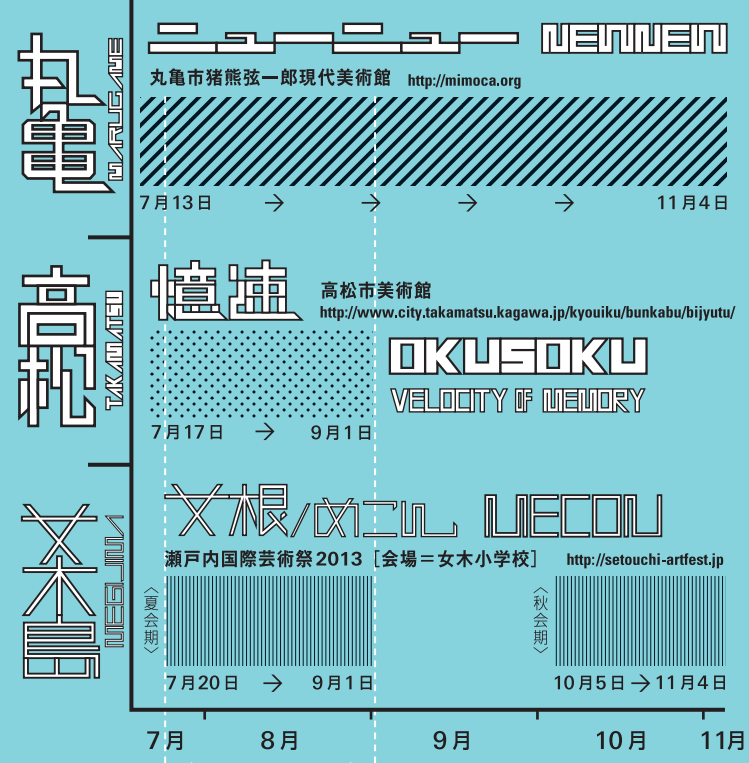
3 プロジェクト共同企画スタンプラリー開催

3 つの大竹伸朗プロジェクト共同企画として、各会場に設置されたスタンプを下の所定の位置に押してすべて揃うと、「ニューシャネル」特製バッジがもらえるスタンプラリーを開催します。スタンプが 3 つ揃いましたら最寄りの会場の受付にお申しください。

※缶バッジがなくなり次第終了になります




大竹伸朗
3 PROJECTS



プロジェクト共同企画
スタンプラリー開催!

大竹伸朗展 ニューニュー

四国・宇和島への移住から25年を経て新しい局面を迎えつつある「大竹伸朗の現在」に焦点を絞った久々の大規模な新作展。『ドクメンタ〈13〉』（2012年）にてカッセルの森を舞台に発表された《モンシェリー：自画像としてのスクラップ小屋》が丸亀へと場所を移して新たに展示されるのをはじめ、高さ6メートルに達する大型の平面作品や、3層吹き抜けのエントランスに設置する巨大なインスタレーション《時憶／美唄》など、美術館[MIMOCA]の建築や展示空間を最大限に活かして制作される最新作、そして2011年より取り組んでいる「貼り」による〈時憶〉シリーズやグワッシュを用いた新たな作品群〈境界色〉など、まさに「ニューニュー」というタイトルにふさわしく、新作および国内未発表の作品を中心に構成します。

比類のない熱量をもって常に前進し続けるアーティスト大竹伸朗の「今」に立ち会い、次なる展開への予兆を感じる絶好の機会となることでしょう。



《モンシェリー：自画像としてのスクラップ小屋》
2012年
写真は「ドクメンタ〈13〉」
（ドイツ／カッセル、2012年）での展示
撮影：山本真人
©Shinro Ohtake

会期＝2013年7月13日（土）－11月4日（月・休） 会期中無休

開館時間＝10:00－18:00（入館は17:30まで）

夜 MIMOCA 7月＝13、20、27日、8月＝10、24日、9月＝14、28日、
10月＝12、26日は21:00まで開館します（入館は20:30まで）

会場＝丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

料金＝一般 950円（760円）大学生 650円（520円）

高校生以下または18歳未満・丸亀市内に在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

*常設展「猪熊弦一郎展 創意工夫の手あと」を含みます

*（ ）内は前売及び20名以上の団体料金

*「瀬戸内国際芸術祭2013」会期中、パスポートをお持ちの方も（ ）内の料金でご覧いただけます

*8月24日（土）・25日（日）は当館1階ゲートプラザにて「まるかめ婆娑羅まつり」開催のため
観覧無料（ただし展示室内に音が悪く場合があります）

大竹伸朗展 憶速

大竹伸朗の“「記憶」の「速度」”と創作の関係性を切り口に、大竹ワールドの魅力を探る回顧展。新作・近作、未発表作も多数展示します。タイトルの「憶速（おくそく）」は、創作における意識／無意識を超えた「記憶」とインスピレーションの「速度」の関係性を示す大竹による造語。2006年の「全景」展（東京都現代美術館）では、あえて展示方法を年代順という時間軸を一直線にすることによって、その表現の変化とレンジの広がりを見ることができましたが、今回の展示では、いわば時間軸をぼどき、これまで別のシリーズとしてとらえられてきた作品間の新しい関係性や互いに共振する姿をお見せします。

大竹伸朗の表現とは何か？ そもそも大竹伸朗とは何者なのか？

今回のテーマはその答えを見出す大きなヒントとなるものであり、「記憶」「移動」「速度」「時間」といったキーワードを軸に、メディアやモチーフを異にする大竹作品の数々が、会場内で観客とともに新しい像を結ぶことでしょう。

これまでの特徴的な作品シリーズに加え、新作、近作、未発表作も多く出品。さらに「手製本」の全貌、また初公開となる数々の「スケッチブック」も紹介します。



《ダブ平&ニューチャンネル》1999年
写真は「大竹伸朗 全景 1955－2006」
（東京都現代美術館、2006年）での展示
撮影：中野正貴
公益財団法人 福武財団蔵
©Shinro Ohtake

会期＝7月17日（水）－9月1日（日） 会期中無休

開館時間＝9:30－19:00（入館は閉館30分前まで）

※日曜日・8月10日（土）9:30－17:00

会場＝高松市美術館

料金＝一般 1000円（800円）大学生 500円（400円）

高校生以下・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

*（ ）内は前売及び20名以上の団体料金

*「瀬戸内国際芸術祭2013」会期中、パスポートをお持ちの方も（ ）内の料金でご覧いただけます

*8月3日（土）は美術館の日のため入場無料

大竹伸朗 女根

「瀬戸内国際芸術祭2013」の参加作品である《女根／めこん》は、高松港の沖合約4kmに浮かぶ女木島（めぎじま）が舞台。本プロジェクトは風光明媚な女木島を「極楽の島」として広く知ってほしいという考えから、現在休校中の女木小学校の中庭を作品化し、島に新たな憩いの場を創造することから構想されました。

作品となる庭には、宇和島沖に漂着した大きさ8メートルの巨大なパイが直立し、中央部に女木島に自生していたフェニックスヤシが移植され「女根／めこん」の象徴となっています。その周囲には複雑に屈曲した木の根や熱帯植物が溢れるように配置され、大竹伸朗の作品を転写したタイルや自ら絵付けしたタイル、さらにネオン作品や、ワニのオブジェなどのアート作品と融合して独特の磁場を生んでいます。

作品タイトルの「女根／めこん」は女木島の「女」の字と、『生命力』の象徴としての「根っこ」の意味のほか、本作品が女木島の人々の憩いの場として島に「根付く」ことを願った「根」の字が結びついたものであり、大竹伸朗が何度も女木島を訪れるうちに頭に浮かんだ言葉です。

《女根／めこん》プロジェクトは現在も進行中であり、植物や作品は瀬戸内国際芸術祭の会期中に変化していくため、季節を通して作品の進化を体感することができます。

SHIRO OHTAKE WECOLU

会期＝瀬戸内国際芸術祭2013

〔夏会期〕7月20日（土）－9月1日（日）

〔秋会期〕10月5日（土）－11月4日（月・休）

会期中無休

開館時間＝9:00－16:30

※夏会期中の金・土・日、および
8月12－15日は9:00－20:30

会場＝女木島（女木小学校）

料金＝500円 15歳以下無料

*「瀬戸内国際芸術祭2013」作品鑑賞パスポートにて
鑑賞可能

《女根／めこん》2013年
写真は「瀬戸内国際芸術祭2013」春会期時の展示
©Shinro Ohtake

